



業種 医療 使用機種 FWX120 / SWX2200-8G / SWX2200-24G / WLX302

おぜきクリニック 様

ヤマハのネットワーク機器導入で
快適な院内LAN環境を構築するとともに、
外出先からの電子カルテアクセスを実現

- ➔ 院内LANを再整理して拡張性とメンテナンス性を確保
- ➔ モバイル機器を活用した在宅医療への対応のため無線アクセスポイントを導入
- ➔ 外出先や自宅から電子カルテをVPN経由で安全に閲覧できる環境を整備

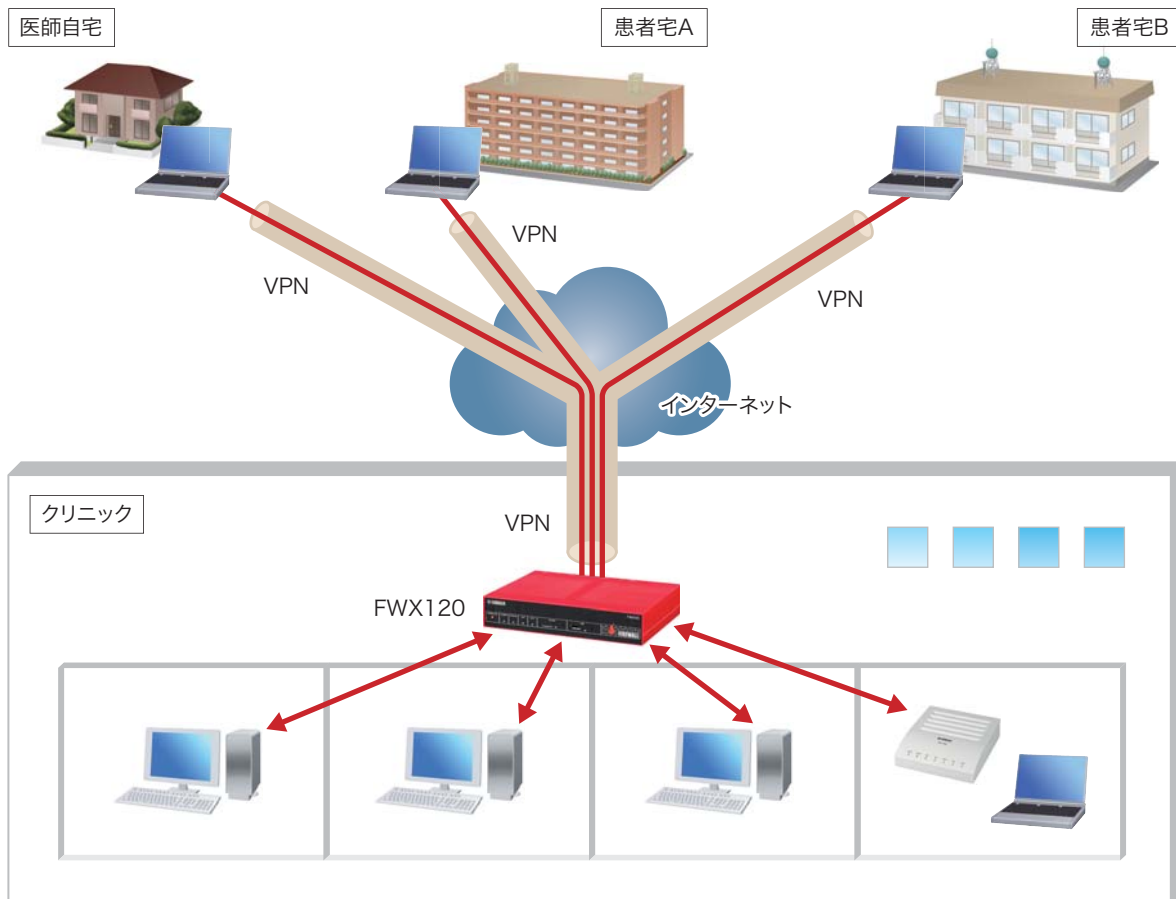
導入の目的

在宅医療へ対応するために 院外からのアクセスと無線環境が必要に

おぜきクリニックは平成5年に武蔵村山市内に開業した内科、整形外科です。開業当時より電子カルテを導入し院内LANを整備したり定期的に機器を入れ替えるなど、IT化にはいち早く取り組んでき

ました。在宅診療を進める中で院内の無線環境の構築の必要性も高まってきましたが、これまで医療機器を都度追加で導入していくにつれて院内LANが複雑になっていました。無線LANアクセスポイントを単純に追加設置するのでは、無線では端末アクセス状況が見えにくくセキュリティの心配もあり、無線環境の構築に際して既存の院内LANも全て再設計することにしました。

[導入ネットワーク構成]



導入前の問題点

- 院内LANが複雑になり、かつネットワーク図もなくメンテができない
- モバイル機器を活用しようにもLANが複雑でセキュリティの担保が難しかった
- 往診の際は大量の書類を車に積み込む必要があり準備が大変

導入後の効果

電子カルテの処理速度が向上

院内LANの有線スイッチを全ギガポートのヤマハSWX2200に入れ替えたところ、診察室および受付での電子カルテの処理速度が劇的に向上しました。これまでも電子カルテサーバーと診察室PC間のネットワークスイッチはギガ対応のものでしたが、院内LANを全て再設計してシンプルにすることで処理速度が向上しました。

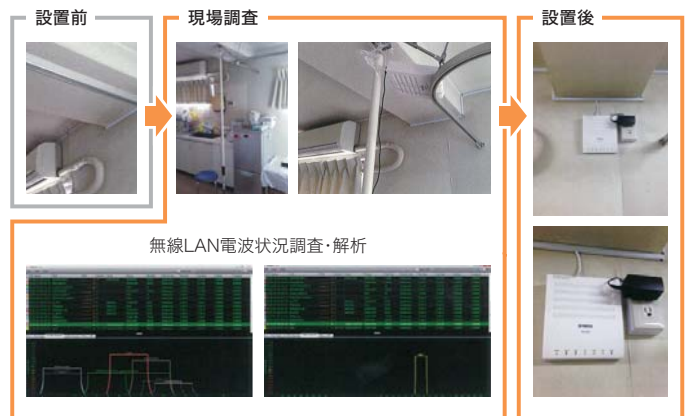
「見える化」で院内LANの配線がわかりやすく

ヤマハスイッチの「LAN見える化」で機器の接続状態を簡単に確認できるようになっています。またLANケーブルの接続部分には接続先を示すタグをひとつずつ取り付けることにより、どの機器に何のために接続されているかを明示し、院内LAN設計図どおりに設置されているかがわかるようになっています。またヤマハSWX2200の有線LANの「見える化機能」により、GUIからも接続状況を確認できるため、万が一問題が発生した際の切り分けも簡単になっています。



往診先や自宅など院外からでも 電子カルテサーバーに接続可能に

無線LANアクセスポイントを設置して、往診用のノートPCで院内どこからでも電子カルテサーバーに接続できるようになりました。また往診用ノートPCにはVPNの設定を行うことで、院外でもモバイルWi-Fiルーター経由で電子カルテサーバーに接続できるようにしています。また自宅のPCにはVPN接続に加えて、ルーター経由で電子カルテサーバーを起動するWake On LANを設定しました。院内の電源を落として帰宅した場合でも、自宅から電子カルテサーバーを起動させ電子カルテにアクセスできるようにしています。



無線 LAN 電波状況調査の様子

導入医院様



所在地 東京都武蔵村山市大南2-39-1
開院 1993年
URL <http://ozekiclinic.webmedipr.jp/>

使用機器



ファイアウォール
FWX120



スマートL2スイッチ
SWX2200-8G



スマートL2スイッチ
SWX2200-24G



無線LANアクセス
ポイント
WLX302

本製品のお問い合わせ先

ヤマハルーターお客様相談センター

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

■お電話によるお問い合わせ先

☎ 03-5651-1330

■FAXによるお問い合わせ先

☎ 053-460-3489

ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください > jp.yamaha.com/products/network/



このパンフレットは無毒漂白(ECF)パルプを使用しています。



このパンフレットは植物油インキを使用しています。



お問い合わせ先

感動を・ともに・創る

製造元

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
2016年2月作成